

P 計画の基本事項				
基本目標	3 読書ネットワークの充実			
施策	(2) 読書活動を支える人の活動の活性化			
施策の方向性	<p>学校及び保育所(園)・幼稚園等において子どもたちが、充実した読書活動が行えるように、活動を支える人材のスキルの向上を図ります。</p> <p>また、読書ボランティアについては、人材の発掘及び育成を継続するとともに、活動の場の創出のほか、活動が縮小している団体等を支援する体制づくりを行い、ボランティアの活動の活性化に取り組みます。</p>			
主な取組	①図書館司書のスキルアップ			
	②学校司書活動の充実			
	③保育士・幼稚園教諭等のスキルアップ支援			
	④読書ボランティアの育成			
	⑤読書ボランティア人材の発掘			
	⑥読書ボランティア活動の活性化			
	⑦読書ボランティアの交流の場と協力体制づくり			
成果指標	各種読書ボランティア講座の実施	策定時点	目標値(R9)	
		520人	530人	
D 令和6年度(具体的な事業実施状況調査より)				
評価指標	重点事業	指標	実績(R6)	目標値(R6)
評価指標	各種読書ボランティア講座の実施	年間実施回数	10回	6回
	読書ボランティア情報交換会の実施	年間実施回数	3回	1回
主な取組の実施状況及び今後の方針	①図書館司書のスキルアップ		達成状況	
	◆まどかぴあ図書館では、スキル向上を図るため、職員にレファレンスやバリアフリー、子ども読書に関する外部研修に参加させた。今後も引き続き積極的な参加を促し、職員のスキルアップを図っていく。		②期待どおり	
	②学校司書活動の充実		達成状況	
	<p>◆学校司書を対象に連携部会を2回、図書司書研修を3回、新規採用向けのシステム操作研修を2回実施した。研修の回数を増やしてほしいという要望があるため、今後は状況に応じて開催を調整していく。</p> <p>◆学校司書への本計画周知のため、連携部会で概要説明を行った。学校司書が入れ替わるため、今後も年度初めに本計画の周知を継続していく。</p> <p>◆学校司書や司書教諭の外部研修参加を促進するため、県からの研修に関する情報をC4thで随時通知している。今後も参加を促すため、研修や講座の情報を継続して提供していく。</p> <p>◆図書館・小中学校図書室連携部会は、年2回実施され、市役所との連携時間を増やしたことで業務改善に結びついた。しかし、協議内容が希薄化し、大半が学校図書司書間の意見交換の</p>		②期待どおり	

<p>場となっている点が課題であり、今後もまどかぴあ図書館、市役所、学校の情報交換の時間は設けつつ、部会の在り方を検討していく。</p> <p>◆まどかぴあ図書館では、学校ボランティアと連携するため、まどかぴあ図書館主催の講座案内送付や選書・団体貸出などの支援、出張おはなし会などを実施した。しかし、各校の活動実態が異なるため、講座の参加者数や団体貸出の利用に偏りが見られた。今後も学校ボランティアに対し、必要な支援等を継続していく。</p>	
<p>③保育士・幼稚園教諭等のスキルアップ支援</p>	<p>達成状況</p>
<p>◆市から研修に関する情報提供はしたが、他の研修を優先したことや、人員配置の都合上、研修に参加する余裕がなかったことなどが理由となり、ほとんどの園で保育士等の参加は進まなかった。一部で研修不要とする意見もある中、今後はオンラインや動画視聴など、より参加しやすい方法を検討し、積極的な研修への参加を促していく。</p>	<p>②期待どおり</p>
<p>④読書ボランティアの育成</p>	<p>達成状況</p>
<p>◆全2回の読み聞かせボランティア入門講座（土曜含む）、全3回のスキルアップ講座（絵本の組み合わせ、小道具、赤ちゃん入門）、語りの講座の計3種類を実施した。入門講座は土曜実施も功を奏して参加者が多く、スキルアップ講座も受講者の満足度が高かった。今後の方針として、入門講座は実施曜日を引き続き検討しつつ継続して実施していく。スキルアップ講座は、ニーズを調査しながら多様な内容を実施していく。</p> <p>◆まどかぴあ図書館では、実技指導やボランティア同士の仲間作りといった側面を重視し、まどかぴあ図書館の各種研修（3種類、全10回）を全て対面方式で実施した。一方で、実際に集まったの意見交換を必要としない新人の学校図書司書（2名）向けのシステム操作研修は、オンライン形式で2回実施した。今後は、読み聞かせボランティア向けの講座など、実技やグループワークを含む講座についても、オンラインに向く講座内容を検討していく。</p> <p>◆まどかぴあ図書館では、講座やイベントの情報を市内小中学校、公民館、コミュニティセンターへチラシで送るとともに、ホームページでも周知した。イベントの際には所属ボランティアにも案内しており、この情報提供が継続的なイベント等への参加に繋がった。今後も同様の周知活動を続けていく。</p>	<p>①効果が期待以上 ※目標を超え各種読書ボランティア講座を実施したことから、期待以上とした。</p>
<p>⑤読書ボランティア人材の発掘</p>	<p>達成状況</p>
<p>◆読書ボランティアを募集するため、読み聞かせボランティア入門講座で直接参加を呼びかけるとともに、市のホームページに募集情報を掲載し、周知活動を展開した。今後もこれらの活動</p>	<p>②期待どおり</p>

	<p>を継続していくとともに、R7年度からは読書ボランティアネットワークを設立し、読書ボランティア全体で人材の発掘に向けた取り組みについて協議できる体制を整える。</p> <p>◆まどかぴあ図書館では、読書ボランティアを確保するため、入門講座を開催するとともに、講座の案内を全戸配布される情報誌「アテナ」に載せることで、普段まどかぴあ図書館を利用しない市民層にも情報を届け、講座の受講とボランティア活動への参加を幅広く促した。今後はSNSなどの新たな媒体も活用し、人員の確保に努めていく。</p>	
	⑥読書ボランティア活動の活性化	達成状況
	<p>◆読書ボランティアの募集情報「読書ボランティアへのおさそい」により読書ボランティア団体を周知するとともに、読書ボランティアを紹介し、コミュニティセンターでの絵本のおはなし会を開催した。今後も市に登録されている読書ボランティアの紹介を継続していく。</p> <p>◆各読書ボランティア団体が抱える課題に対応し、全体での問題解決を目的として、相互支援と連携体制を築くためのネットワーク設立に向け、ワークショップ等を開催し準備を進めた。今後はこのネットワークを通じて、各団体の成功事例や最新の活動情報を共有し、協力体制を強化しながら課題に対処していく。</p> <p>◆読み聞かせ等を実施した読書ボランティアに対し、まどぶらポイントを付与した。今後もこの取り組みを継続していく。</p> <p>◆読書ボランティアが参加するイベントの場において、本計画を周知した。今後も継続的に本計画を周知していく。</p>	②期待どおり
	⑦読書ボランティアの交流の場と協力体制づくり	達成状況
	◆読書ボランティアネットワーク設立のため、市役所が主催し、7月と9月にワークショップを実施した。これは、ボランティア自身の意見を直接聴取し、目指すべきネットワーク像を具体的に検討するためであった。その後の2月の報告会を経て準備を整え、ネットワークは令和7年度に設立する。	②期待どおり
<b>C 評価</b>		
推進委員会 評価	◆進捗状況は「達成状況」に記載のとおり。	
検討が 必要な事項	◆なし。	
<b>A 改善</b>		
改善結果		